



久隔清音馳忘無極傳承

步和且慰下情

大阿闍梨所示五八詩序中有

一百廿神仙并方圓龜并註表
等名今奉和得奉知其禮
仙而志伏乞念聞 阿闍梨
其所授而義並其大意等
告祐其和詩志愈難作
若某之文辭段役代愧示其
奏曲必遂利的奉上 庄不
詳附其聯仙子奉狀和而

高僧花闍梨

注

此項得清花梵奉一卷
為令收覽 阿闍梨 来日
九日许亦上若有利上
暇如將來上若無暇更待
後暇惟示指南

弘仁四年十一月廿五日
寫

久隔清音馳忘無極傳承

久

給事父貞
皇朝金紫光祿大夫
行內常侍七韶
之德是鍾金鋪搖
慶玉璽承官長戴
榮於司空高門聽
於寺伯公推局就
於祿年量轉寄



(タテ 28.3cm)



タテ 28.5cm

無道人之短。無說己之長。施人慎勿念受。(施慎勿忘。)



善光寺（長野県長野市）三門の額

通称「鳩字の額」と呼ばれる。



革堂（こうどう）は行願寺（ぎょうがんじ）の通称。宝珠が書かれている。

革堂「行願寺」本堂の額（京都市中京区）



若王子神社の額（京都市左京区）

※五色の絹二四枚に篆・隸・行・草・雜体の書体を交えて一五二行に書かれている。

大和州益田池碑銘并序
沙門遍照金剛文并書

若夫咸星銀漢。下灑之功深。湖水天
池。上潤之德普。故。・・・

釈文
大和州益田池碑銘并序
沙門遍照金剛文并書

若夫咸星銀漢。下灑之功深。湖水天
池。上潤之德普。故。・・・